

第14回日本がん分子標的治療学会学術集会

ケミカルバイオロジーから臨床への橋渡し ーベンチサイドからベッドサイドへー

JAMTTC

<http://jamttc14.umin.jp>

会場

タワーホール船堀(都営地下鉄新宿線船堀駅前)

会期

2010年7月6日(火)・7日(水)・8日(木)

学術集会
会長

長田裕之 理化学研究所 基幹研究所
ケミカルバイオロジー研究基盤施設

7/8 木

Year in Review

5. 低分子分子標的薬の現状と展望
- PI3キナーゼ阻害剤を中心に
矢守 隆夫 (癌研究会)
6. メタボロミクスを用いたがん微小環境の
理解とこれに立脚した治療法の開発
江角 浩安 (国立がん研究センター)
7. Cancer Stem Cellと標的分子
近藤 亨 (愛媛大学、理化学研究所)
8. マイクロRNAと発がん
間野 博行 (東京大学、自治医科大学)

ワークショップ

7. がん遺伝子産物
8. 腫瘍治療・遺伝子治療・バイオマーカー
9. DNA複製と修復・テロメア
10. 耐性因子・感受性因子
11. アポトーシス・オートファジー
12. 血管新生・低酸素・エネルギー代謝

ランチョンセミナー

3. 癌遺伝子研究“今昔”
モデレーター 木村 晋也 (佐賀大学)
演 者 山本 雅 (東京大学)
共 催 大鵬薬品工業株式会社
4. キナーゼ阻害薬Update
モデレーター 田村 友秀 (国立がん研究センター)
演 者 西岡 安彦 (徳島大学)
共 催 エーザイ株式会社

技術紹介

Trabedersen: From the Laboratory into the Clinic

- モデレーター 宮園 浩平 (東京大学)
演 者 Karl-Herrmann Schlingensiepen
(Antisense Pharma)

ポスターセッション

1. ケミカルバイオロジー[I] (探索・合成)
2. ケミカルバイオロジー[II] (オミックス・イメージング)
3. ケミカルバイオロジー[III] (標的特定・作用解析)
4. アポトーシス
5. 転移・浸潤
6. 細胞周期・転写因子
7. 増殖因子・サイトカイン・ホルモン
8. がん遺伝子産物・腫瘍治療・バイオマーカー
9. 血管新生
10. 低酸素・エネルギー代謝
11. DNA複製と修復・テロメア・耐性因子・感受性因子
12. 耐性因子・感受性因子

シンポジウム II

がん分子標的薬の耐性化メカニズム：
基礎と臨床

- モデレーター 曾根 三郎 (徳島大学) 佐谷 秀行 (慶應義塾大学)
演 者 西尾 和人 (近畿大学) 徳永 えり子 (九州大学)
平尾 敦 (金沢大学) 矢野 聖二 (金沢大学)
三宅 秀明 (神戸大学) 岡本 勇 (近畿大学)

2010 7/6 火

基調講演

がんゲノム研究から がん分子標的治療薬へ

モデレーター 長田 裕之 (理化学研究所)
演 者 中村 祐輔 (東京大学)

技術セミナー

1. PGx検査を取り巻く環境とDMET™ Plusアレイ
モデレーター・演者 登 勉 (三重大学)
演 者 米山 政男
(アフィメトリクス・ジャパン株式会社)
提 供 シスメックス株式会社
2. CORYNEX®; *Corynebacterium glutamicum*
における新規タンパク質分泌生産系
ー日本発世界初のがん抗体療法を目指してー
演 者 菊池 慶実 (味の素株式会社)
提 供 味の素株式会社

Welcome Mixer

参加費2000円
ワインの提供があります

学術集会参加費

会 員	5,000円
非会員	10,000円
学 生	3,000円

※当日の入会はできませんのでご注意下さい。
(学生会員のみ当日入会を受け付けます。)

問い合わせ先

第14回日本がん分子標的治療学会学術集会 事務局
理化学研究所 基幹研究所
ケミカルバイオロジー研究基盤施設
川谷 誠、二村 友史
〒351-0198 和光市広沢2-1
TEL:048-467-9542 FAX:048-462-4669
E-mail: jamttc14@umin.ac.jp

7/7 水

Year in Review

1. 細胞の守護者オートファジー：
その分子機構と生理機能
吉森 保 (大阪大学)
2. がんの分子イメージング
今村 健志 (癌研究会)
3. 癌化学療法と薬物トランスポーター
杉山 雄一 (東京大学)
4. がんにおけるエピジェネティックな異常
ー発がんにおける役割と分子標的への応用ー
豊田 実 (札幌医科大学)

ワークショップ

1. ケミカルバイオロジー [I]
2. 細胞周期・転写因子
3. ケミカルバイオロジー [II]
4. ホルモン・ホルモンレセプター
5. 転移・浸潤
6. 増殖因子・サイトカイン

ランチョンセミナー

1. Developing novel glycoengineered antibodies with
optimized effector functions
モデレーター 畠 清彦 (癌研究会)
演 者 Christian Klein (Roche/GlycArt)
共 催 中外製薬株式会社
2. CCR4を標的とする免疫療法
ー日本発世界初のがん抗体療法を目指してー
モデレーター 山口 俊晴 (癌研究会)
演 者 石田 高司 (名古屋市立大学)
共 催 協和発酵キリン株式会社

シンポジウム I

創薬を目指したケミカルバイオロジー

- モデレーター 吉田 稔 (理化学研究所)
秋永 士朗 (協和発酵キリン株式会社)
演 者 中島 秀典 (アステラス製薬株式会社)
近藤 豊 (愛知県がんセンター)
塩津 行正 (協和発酵キリン株式会社)
井本 正哉 (慶応義塾大学)
米須 清明 (第一三共株式会社)

ポスターブリーフィング

- モデレーター 旦 慎吾 (癌研究会)
清水 史郎 (慶應義塾大学)